



# 見渡せば あちらこちらで まちづくり

市内12地区でコミュニティ・センターの整備を行うなど、一体的なまちづくりを行いました。その一方で、地域ごとの特徴を活かしたまちづくりを行い、まちの魅力を向上させました。



※この他の構成資産として、福津市の「新原・奴山古墳群」があります。

# 10 将来の負担を抑えまちづくり

合併10年宗像ものがたり

## 国からの財政支援は

### 合併特例事業

約1/4の負担で事業実施! 市の負担がDown!

#### ●主な事業

- 赤間駅北口整備事業
- コミュニティ・センター整備事業
- 学校大規模改修事業など

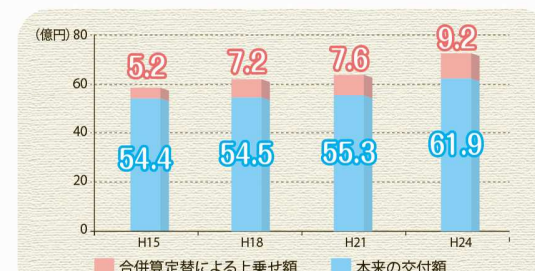
合併特例事業とは、合併特例事業債という合併市町村のみが使うことができる有利な借金を活用した事業です。元利償還金の70%が後年度、国費で賄われます。



### 普通交付税の合併算定替

年間9億円の乗せ! ※平成24年度 市への支援がUp!

合併算定替は普通交付税の算定における特例措置で、合併前の額よりも交付額が減少しないよう算定を行うものです。市債の繰上償還、基金の積立にも活用しました。



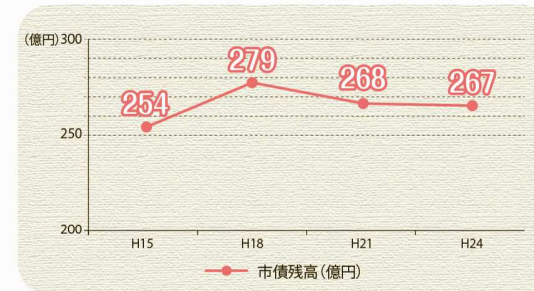
合併後のまちづくりでは、赤間駅周辺整備や玄海地域の下水道整備など、従来の行政経営では難しかった大規模事業による新市の基盤づくりを行ってきました。

「国からの支援」と「行財政改革」による行財政基盤の強化の中で、効果的・効率的な投資を行いながら、将来への負担を抑えた計画的な行財政運営を行っています。

## 市の借金・貯金はようになった?

### 借金(市債残高)

ほぼ横ばいで推移!



市債とは、市の借金のことで。合併特例事業の実施などで市債の発行額は高い水準で推移しましたが、繰上償還を継続的に実施し、将来負担の抑制に努めています。

### 貯金(基金残高)

基金残高は62億円増加!



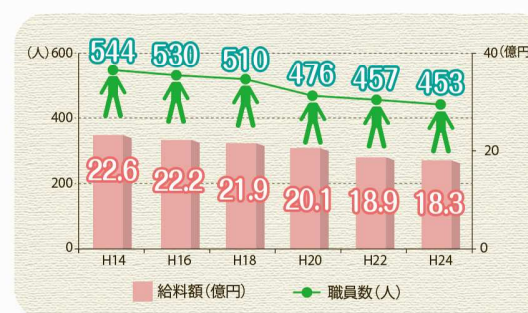
基金とは、特定の目的のために積み立てる貯金のことで。基金を年々積み立て、残高は増加しています。合併算定替の上乗せ分の一部も積み立てに活用しました。

国からの支援と行財政改革の結果...

## 合併のスケールメリットを活かした行財政改革

### 職員数の削減

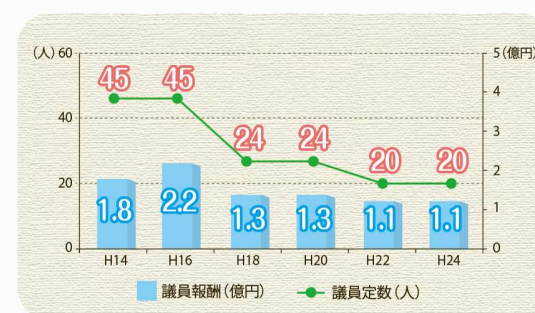
91人の職員削減!



総務、人事、財政等、3市町村で共通する部署の職員数を削減し、年間4億2,300万円の削減効果を得ています。

### 議員定数の削減

25人の議員定数削減!



合併の在任特例と報酬額の統一により、一時的に報酬額は増額しましたが、その後、段階的に議員定数を削減し、年間7,200万円の削減効果を得ています。

## 将来負担を抑えて、まちづくりができました!

### 合併後の公共施設は?

合併により機能が重複することとなった施設は、市全体での配置を考慮して、機能転換、廃止等を実施しました。

合併でよりスリムに!

地域	施設名	現在の状況	内容
宗像	中央公民館	廃止	中公民館機能を移管。河東地区コミュニティ・センターへ再整備
	学校給食共同調理場	廃止	自校式調理場の全小中学校への整備完了に伴い廃止
	働く女性の家(赤間出張所)	機能転換	シルバー人材センター事務所に機能転換。赤間出張所機能を廃止
玄海	玄海庁舎	民間譲渡	医療機関に譲渡
	岬地区公民館	廃止	岬地区コミュニティ・センター整備に伴い廃止
	民俗資料館	機能転換	機能を海の道むなかた館に統合。岬地区コミュニティ・センターに機能転換
	池野地区公民館	機能転換	池野地区コミュニティ・センターに機能転換
	アクシス玄海	機能転換	海の道むなかた館に機能転換
大島	大島清掃工場	廃止	宗像清掃工場での一括処理の実施に伴い廃止
	大島民具資料館	民間譲渡予定	機能を郷土文化学習交流施設に統合。民間譲渡予定
	さざなみ館	機能転換	大島地区コミュニティ・センターに機能転換
	大島保健センター	機能転換	大島行政センターに機能転換



合併10周年宗像ものがたり

# そして、 まちづくりは これからの10年へ…

## 市の財政は？

### 国からの 財政支援措置

合併算定替が26年度から  
段階的に縮減

### スケールメリットを 活かした 行財政改革

職員数、議員定数の削減がひと段落

## 将来を見据えた 行政経営が必要！

### 今まで以上に

- 中長期の財政運営指針を踏まえた予算編成
- 事業の優先順位づけ、取捨選択
- 少子高齢化などの社会の変化に対応した、公共施設の適正管理(再配置、統廃合など)

## これからのまちづくりは？



合併10周年記念シンポジウム

### 宗像とことんトーク

参加した市民から「当事者意識をもってまちづくりに関わりたい」という力強い宣言がありました。

#### 参加者の声

- 地域のために自分ができることを、小さなことでも行動する
- 大人が子どもたちに行動をみせる
- 高齢者もまだやることがある



### 「市民力」で まちづくり

合併後の市では、コミュニティ施策や市民参画など協働のまちづくりを進めてきました。行政と市民がまちづくりの役割を意識し、行動することが地域の活性化、宗像市全体の活性化へと繋がっていきます。



平成27年度から始まる  
第二次総合計画

### 宗像力プロジェクト

第二次総合計画の策定と計画の進捗管理を宗像力プロジェクトと題し、市民と一緒に取り組んでいます。宗像力プロジェクトのなかで、まちづくりの進み具合を市民と共有し、宗像の魅力が次世代へ引き継ぎながら、さらなる発展に取り組んでいきます。

## まちづくりの原動力は「市民力」

### 宗像市役所 経営企画課

〒811-3492 福岡県宗像市東郷1丁目1-1 TEL.0940-36-1192

このパンフレットは合併検証報告書のダイジェスト版です。

市民アンケート結果などを掲載した詳細な「合併検証報告書」は、市民図書館、コミュニティ・センターに設置しています。また、詳細については、市ホームページ <http://www.city.munakata.lg.jp/>でもご覧いただけます。